



出荷最盛期のミニトマト
(西脇農家)



議案質疑 2～3
15人がたず個人質問 4～11
議会報告会を開催しました 12
次回定例会の予定・編集後記 12

議会報告会を開催しました

5月10日 長船地域 (ゆめトピア長船)
5月17日 牛窓地域 (牛窓町公民館)
5月24日 邑久地域 (中央公民館)

市民からの主な要望事項 (詳細はホームページに掲載)

- ① その他プラスチックと燃やすごみが一緒に焼かれていないか調査を。
- ② ごみ減量について、目標設定が高いので達成可能な数値にするべきではないか。
- ③ 周遊観光の整備に力を入れるべきだと考えるがいかがか。
- ④ メガソーラー事業視察に備え、観光のために道路、駐車場の整備を。
- ⑤ 医療費削減のため、健康寿命を延ばす取り組みを検討してほしい。
- ⑥ 公的病院は利益を目的に運営するべきではないのでは。
- ⑦ 豆田工業団地に1部上場企業の誘致をしてほしい。
- ⑧ 美しい森を市の行事で活用してはどうか。
- ⑨ 資産管理について、旧長船町給食調理場・プールなどの撤去、市の土地などの遊休資産の早期売却をすべきである。
- ⑩ 指定管理について、議会としてよくチェックしてほしい。任意団体ではなく、法人を指定するのが好ましい。
- ⑪ 人口増加のために空き家の整備に補助金を導入しては。
- ⑫ 瀬戸内市に空き家はあるが、貸家になっていない。空き家対策及び移住施策について、きめ細かな対策をお願いしたい。

※即時に返答できるものはその場で返答させていただき、できないものは、後日直接ご本人に返答させていただきました。

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

8月29日(金) 本会議 9:30～
9月 5日(金) 本会議 9:30～ 一般質問
8日(月) 本会議 9:30～ 一般質問
9日(火) 本会議 9:30～ 一般質問
11日(木) 本会議 9:30～
25日(木) 本会議 9:30～

お気軽に傍聴してください。

(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

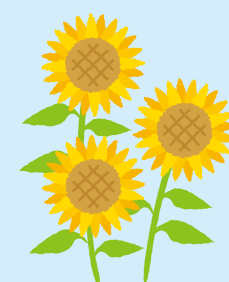


5月10日に長船会場で開催した議会報告会

お詫びと訂正

誤 正
瀬戸内警察署が行ったホイススト訓練
岡山県消防ヘリの協力で瀬戸内市消防団が行ったホイススト訓練

第38号表紙に誤りがありました。お詫びして、次のとおり訂正します。



(川野)

こんにちは。
私も新人議員として1年が経過しました。議会に新しい風を送り込むことができたと思っておりますが、皆さんにはどう映っているのでしょうか。
先日、裳掛小学校のアンネのバラと邑久スポーツ公園の青ガリが新聞に取り上げられていました。どちらも平和を願う象徴として、植樹されたものです。
私たち議員は、市民の安全安心な社会を願って活動しています。今後とも議会の出来事を分かりやすく、丁寧にお伝えしますのでご指導の程よろしくお願い致します。

編集後記

●お問い合わせは議会事務局 (0869) 22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp/~gikai>

インターネット
中継はこちら
から

この市議会だよりは
再生紙を使用しています

市営前島キャンプ場閉鎖



波の浸食により崩壊した前島キャンプ場

- 前島キャンプ場廃止条例を審議し、全会一致で可決した。
- 問** 閉鎖する経緯は。
- 答** 合併前後から利用者はなく、度重なる台風等で護岸の浸食が著しい状況である。それを修復するには多額の費用が必要となるが、費用対効果が認められないため閉鎖の判断をした。
- 問** 閉鎖して前島がさびれる印象を与えないか。
- 答** 前島には、他の私設のキャンプ場が3カ所ある。閉鎖した後、民間活力の利用を含め対応していきたい。

一般会計 21議案

補正予算 (請願・陳情を除く)

などを 審議

請願・陳情審査

●「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願
採択(全会一致)

●より改善された公共交通システムの早急な実現を求める陳情
採択(全会一致)

●子どもの医療費無料制度の存続を求める陳情
採択(全会一致)

●日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願
不採択

賛成

唯一の被爆国として、核兵器廃絶の請願を採択すべきである。

反対

「核兵器の人的影響に関する共同声明」に既に署名しており、違和感がある。



錦海排水ポンプ

問 雨の多い季節になるが、問題は無いのか。

答 3台のポンプを同時に稼働することは、まれである。気象情報を勘案して、事前に水位を下げることで対応する。

平成27年度の和歌山国体においてヨット等の仕様変更があり、それに対応するため、岡山県セーリング連盟に230万円を補助する。



問 補助の内訳は。

答 ヨットのマスト、ウインドサーフィンのセイル(帆)、また老朽化した救命用のボートの船外機等である。

問 財源は。

答 ふるさと納税のうち、市のスポーツ振興、特にセーリング振興を希望されているものを活用する。

排水ポンプ修理に
約670万円

セーリング振興に
230万円

狩猟免許取得
個人負担ゼロに



近年の有害鳥獣による農作物被害に対応するため、狩猟免許の取得に対し助成する。

狩猟免許取得には、免許受験手数料が5千200円、取得講習会受講料が4千円、合計9千200円が必要である。今回から、市も県もそれぞれ半額ずつ補助することとし、個人負担がゼロとなる。

お祭りを安全に

京都府福知山市で発生した花火大会火災を踏まえ、対象火気器具等の取り扱いに関する規定等を制度化するため、火災予防条例の一部を改正することについての議案を審議し、全会一致で可決した。(8月1日施行)

問 お祭りや縁日はどう変わるのか。

答 主催者は、消防長に露店等の開設届出書が必要となる。

また、ガスコンロ等火気を取り扱う露店等は、消火器一本の備え付けが必要となる。



6月定例会では、補正予算関係議案2件、条例関係議案7件、議員発議案1件、請願2件、陳情2件、その他11件の計25の案件が審議されました。賛否の分かれた案件のみ掲載します。(掲載のない議案等は、全会一致で可決または採択されました。)

平成26年第3回(6月)定例会 賛否の公表

議 案 名		議 決 年 月 日	採 決 結 果	公明党 瀬戸内市議員	日本共産党 瀬戸内市議員	せとうち クラブ	瀬戸内市民の会					改 革		(無 会 派)					賛 成	反 対					
				河本 裕志	高岡 直美	島津 幸枝	厚東 晃史	石原 芳高	中村 勝行	平原 順二	馬場 政教	原野 健一	竹原 幹一	川野 泰一	日下 俊子	廣田 均	日下 敏久	小谷 和志			角口 隼一	布野 浩子	森 俊之	小野田 光	室崎 陸海
請願 第1号	日本政府に核兵器全面禁止 のための決断と行動を求め る請願	H26.6.26	不採択	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	一	欠	7	11

○=賛成 ●=反対 —=議長職(議長は採決に加わりません)

個人質問

布野浩子

1. 豆田工業団地について
2. 観光行政について

高間直美

1. 発達障がい児の支援について
2. 防災対策について
3. 認知症対策について

日下敏久

1. 美しいまちづくりについて
2. 安全・安心なまちづくりについて
3. J.R大富駅周辺について
4. 「挨拶のまち瀬戸内市」の宣言について

森俊之

1. 県外・市外からの転入希望者受入体制について
2. 汚水処理行政について

竹原幹

1. 行財政改革について

川野泰一

1. 学校トイレの改善について
2. 買い物弱者への対策について
3. 河川改修と県道整備について

河本裕志

1. ごみの減量化について
2. 学童保育について
3. ESDについて

島津幸枝

1. ごみ行政について
2. 中期財政計画で示された財政運営適正化計画及びまちづくり会議の提言について
3. 発達支援センターについて

日下俊子

1. ごみの分別区分の統一について
2. 有害鳥獣対策について
3. 当市の図書館、公民館行政について

角口隼一

1. 安全・安心のまちづくりについて
2. 中期財政計画について
3. 「人と自然が織りなすしあわせ実感都市瀬戸内」の実現に向けて新しい手法や考え方を導入することについて

原野健一

1. 公共交通について
2. 消防本部、消防団について

中村勝行

1. 火葬場整備について
2. 病院事業について

馬場政教

1. 錦海プロジェクトの推進について

室崎陸海

1. 瀬戸内市のまちづくりについて

厚東晃史

1. 市民の移動手段の確保について
2. 保育園・幼稚園の充実について
3. 学童保育の充実について

高間直美

問 認知症サポーター養成講座を開いては

答 可能な限り進めていく



問 小・中学生を対象に、認知症サポーター養成講座を開いては。

後、定期巡回指導に向けて現場の意見を聴き検討する。

進める。

保健福祉部長

教育長

高齢社会を考えると、子どもたちが認知症について正しく理解する事は大切。学校とも相談しながら、可能な限り進めていく。

問 デイジー教科書の導入状況は。

教育長

現在、小学校2校において既に活用している。本年度、ICT教育環境の整備を実施する予定。より一層デイジー教科書の申請、活用を進めていく。

問 発達障がい児支援のために、各園へ定期巡回指導を実施しては。

問 障がい別に指導を実施しては。

保健福祉部長

臨床心理士と公立保育園長と協議し、巡回指導をスタートさせた。保育士から「園児の保育に大変役立ちありがたい」と好評。今

危機管理部長

早い時期に、市防災担当、福祉担当、障がい福祉団体、社会福祉協議会等と連携を図り



認知症について学ぶ美和小の児童ら

布野浩子

問 跡地活用を含め観光行政をどう行つか

答 方向性を今年度末までに出す



問 黒田官兵衛ブーム、生誕130年の竹久夢二、牛窓の観光など市外から観光客は増加しているが、瀬戸内市としての一体感が感じられない。錦海塩田跡地活用事業は、国外からも注目を浴びており、瀬戸内市固有のインパクトある観光資源となり得るが、観光行政をどう行うつもりか。

市長

市民との対話を重ね、特色あるものをつくっていく。有効な提案等があれば寄せてほしい。

問 雇用創出ということで、豆田工業団地に市民も期待している。どのように企業誘致をしているか。

産業建設部長

岡山県の大阪事務所、東京事務所等と情報交換をしている。特に企業が集積している東京、大阪方面では、



一本松展望園から見た錦海塩田跡地

日下敏久

問 使用していない公共施設の処分は

答 優先順位を決めて対応したい



問 未使用の公共施設の解体撤去が必要では。

総務部長

公共施設再編計画を策定し、計画的に処分したい。

教育次長

昨年度の通学路点検で改善が必要な箇所は36件、うち20件は白線の引き直しやカーブミラーの設置など対策済みであり、順次整備を進めていきたい。

産業建設部長

道路、水路の改修は緊急性を判断し、予算の範囲内で実施したい。



大富駅

問 市民、児童・生徒、市職員等でありさつ運動に取り組んでは。

総務部長

小中学校では毎月10日前後に挨拶運動を展開しており、今後も挨拶の輪を広げるよう取り組んでいきたい。

総合政策部長

駐輪場、トイレ改修の用地買収を前向きに





未整備の河川（大土井地区内）

問 大土井地区内の千町川付近の住民は、集中豪雨には浸水を心配している。20年も前からこの河川改修と合わせ、県道の整備を要望してきているが、進展が見られない。今後の整備計画は。

産業建設部長

県が、河川と道路を同時に整備する計画である。用地買収が完了すれば、本年度からでも工事にかかる。全体が完了するのは、平成30年度の予定である。

問 家庭では、洋式トイレが主流になっており、学校の和式トイレでは、使用しにくい子どもがいる。また、学校は、地域の避難場所にもなっており、高

問 玉津地区や前島地区には、買い物する場所もない。高齢者は、日常生活に不便を感じている。行政はどう考えているのか。

市長

買い物弱者支援は、瀬戸内市全体で考えていく必要がある。地域に合った資源を活かしていくことになると思う。



川野 泰一

問 玉津地区の千町川と県道の整備は

答 平成30年度には完了する予定

ので、トイレの機能を充実できないか。

教育次長

大変重要なことだと考えている。今後、優先順位を見極めながら、順次整備していきたい。



森 俊之

問 市設置型合併処理浄化槽を導入しては

答 先進事例調査をし、研究してみたい

問 移住定住者増加のための施策は。

総合政策部長

現行の補助金も含めて、本年度中に新たな移住定住促進策を検討する。又空き家対策については地域の方々、街づくりなどに携わっている方々との情報共有に力を入れてゆく。

問 下水道建設のための公債費を含まない場合の1mあたりの処理原価と、それに対する使用料収入の割合（回収率）は。

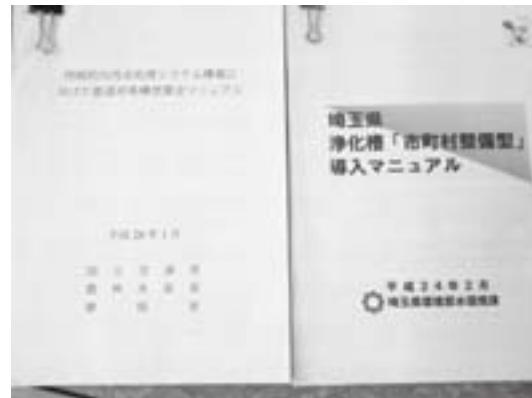
上下水道部長

施設ごとに大きな差があるが、全体では原価は250円、回収率は74%となっている。

問 未着工の下水道認可区域を経済の合理性の観点から見直すと共に、認可区域外では従来の個人設置型ではなく、市が設置工事と維持管理を行い、個人は下水道同様に、負担金と従量制の使用料を支払う、市設置型合併処理浄化槽で汚水処理行政を進めていくべきでは。

市長

区域の見直しは、起債の償還等課題があるが、市設置型の導入と併せてあらゆる面の比較検討、メリット、デメリット、リスクを勘案しながら、少し時間をかけて検討し、示すべく判断、結論を示したい。



3省による持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアルと、埼玉県浄化槽「市町村整備型」導入マニュアル



竹原 幹

問 行政改革は、市長の覚悟が必要では

答 正しい情報を示し、対話していく

問 瀬戸内市は、地方交付税が来年度から、段階的に5年間で13億円削減される中で、これから大規模事業に取りかかる。財政は本当に大丈夫なのかと多くの市民が心配している。

今年2月に出た「まちづくり会議」の提言は、市民には厳しい内容のものばかりである。

市長

この提言を受け、これから行政改革プランを策定していくが、執行部には、これを実行しなければならぬという覚悟が見られない。

特に、市民生活に直結した、市民にご負担願うものについては、丁寧に説明し、理解を



本市の難しいところは、先にやらなければならぬことをやって、それから財政の健全化をしていかなければならないことだ。今の状況なら、市が破綻するということはある得ないと考えている。常に危機感を持って財政運営に臨んでいく。正しい情報を示し、私が先頭に立って、地域に向き、説明し、理解を求めていく姿勢が求められていると思う。



河本 裕志

問 学童保育について

答 施設の充実、検討課題

問 学童保育の実態はどうなっているのか。

保健福祉部長

市内には、保護者や指導員の運営委員会方式によるクラブで、邑久、長船地域の8クラブ247人。牛窓地域に、私立保育園が運営母体になっている2クラブ71人があり、合計10クラブ318人の児童が利用。

問 支援法の附則の中で、占用区画として遊び、生活の場と静養の場を設けるとあるが。

市長

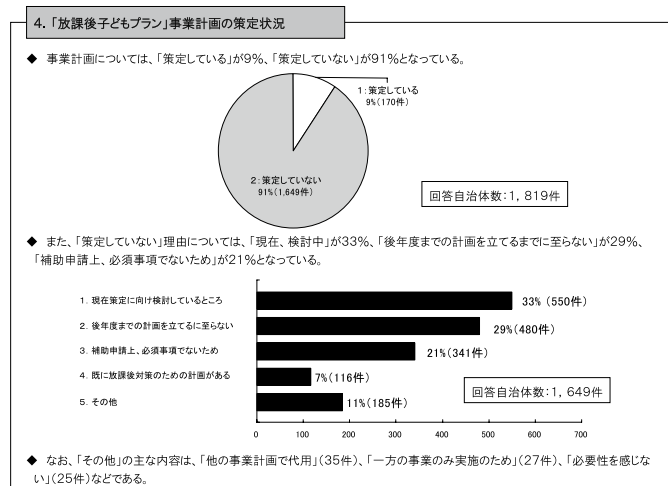
施設の充実をどのように図っていくのか、学童保育の質の確保、向上については、非常に大切な課題だと認識をしている。

保健福祉部長

問 子ども・子育て支援新制度では基準について、市町村が条例を定めることになったが。

今後5年間の子ども・子育ての計画策定をするために、アンケートを実施している。

本年度中に作成し、27年度から運用していく。



文部科学省ホームページ
「放課後子どもプラン実施状況調査について調査結果」より



島津 幸枝

問 かもめの民間委託をやめては

答 今年度中に方向性を決める

問 現在、クリーンセンターかもめのごみ焼却は、2班体制で、後半を民間に委託している。4人の民間社員が作業しているが、年間の委託料は、3千万円にのぼる。民間委託をやめてはどうか。

市民生活部長

ごみ処理費用や近隣市の動向を踏まえ慎重に検討し、議会に諮りたいと考えている。

副市長

値上げの議論と分別とはさび分けをし、考えてもらいたい。

問 発達支援センターの開設を。

保健福祉部長

整備したい法人があると聞いている。整備の妥当性や福祉需要を考慮し、検討する。

市民生活部長

民間委託をやめる場合、職員体制を整備する必要がある。委託業者とは平成27年度までの契約。本年度中に方向性を決めなければならない。

問 中期財政計画に示されたごみ袋20円から50円の値上げ議論の進め方は。



「クリーンセンターかもめ」



原野 健一

問 その他プラスチックの収集を毎週に

答 課題がクリアできれば可能である

問 今回新しく導入されたその他プラスチ

ックの収集を、月2回から毎週にして欲しいと切実に望む声が多いが、対応する考えはないか。

市民生活部長

市民の減量に対しての前向きな声であり、応えていかなければいけないと思っています。

しかし、課題が二つある。一つは環境衛生委員の負担が増加すること。もう一つは、約800万円の収集委託料が追加で必要になることである。

全市規模で、この減量に対する盛り上がりを一時的なもので終わらせるのではなく、検討の上必要であれば来



その他プラスチックであふれたごみステーション

1人1日当たりのごみの量

	4月 (グラム)	減量率 (%)	5月 (グラム)	減量率 (%)
牛窓地域	651	12.6	666	10.6
邑久地域	707	5.1	713	4.3
長船地域	528	29.1	531	28.7
市内全体	637	14.5	643	13.7

※1人1日当たりのごみの基準値を745gとした

年度から導入したい。

問 長船の図書館について、平成27年の新図書館の開館に併せて整備するという約束なので、そろそろはつきりとした方向性を示すべきではないか。

現在の長船公民館は、位置的にも長船の中央にあり、地元の人には避難所としてもあてにしている。長船公民館を耐震化し、その中に図書室を整備すべきと考えるがどうか。

教育長

どれも一番市民の方々に図書環境として適切かという観点で、また、公共施設の再編方針についても十分考慮しながら、検討していく。

角口 隼一

問 市民と市が一緒に目標設定をしては

答 事業によってはそれも必要である



問 広報やタウンミーティングだけでは

なく、市長が市民と膝を交えて様々な本市のまちづくりについて、市民と意見交換をしてほしいと願うがいかがか。

市長

市民の皆さん方がある程度複数人数で要望してくだされば、出前方式で出向いて説明をしていく機会をつくろうと考えている。

問 協働のまちづくりの出発点は市民と

市長以下担当者が、一緒に目標を設定し、その目標に向かって市民が動き、市がサポートをする形が必要であると考える。財政

事業に

市長

が厳しい中でも、事業の削減や施設の閉鎖をしない方法も視野に入

っている。将来にわたって市民に安心して暮らしていただけるために、十分な理解を頂きながら努力を怠らずやっていきたい。



タウンミーティング

原野 健一

問 交通システムづくりの進捗状況は

答 検討メンバーを刷新して取り組む

問 今回のモーモース

の実証運行で、交通システムの難しさを改めて思い知らされた。

公共交通の整備なくして、活気ある安全、安心な住みよいまちづくりはできない。それが私の持論であるが、デマンドバスに次ぐ、

総合政策部長

生活交通検討プロジェクトチームを刷新して取り組むところである。地域の公平性、バス、タクシー事業者との共存も念頭に

問 消防本部職員の年齢構成のバランスは取れているのか。

消防長

年齢だけで言うと、47歳から51歳の職員がおらず、5年間空くことになるが、年齢に関係なく、人材育成に力を入れて、組織の保持向上に努めていく。採用計画については、再任用制度の取り入れも検討し、退職者、再任用者、新採用者のバランスをとりながら先を見据えて考えていく。



邑久保育園の園児たち

問 子育て世代
多くの負担を押し付けることはいけないと考える。適正な受益者負担を検討していく。

市長
市の直営で運営することは難しいが、学童保育への支援をしていることは必要と考えている。

保健福祉部長
26年度中に条例化する。

問 保育園や幼稚園の保育料の値上げが計画されている。消費税も上がり、家計への負担が増えている。子育ての環境をよくすることが大切ではないか。

市長
多くの負担を押し付けることはいけないと考える。適正な受益者負担を検討していく。

市長
市の直営で運営することは難しいが、学童保育への支援をしていることは必要と考えている。



厚東 晃央

問 保育料の値上げ計画撤回を
答 負担を押し付けてはいけないと考える

が定住先を決める際に子育て支援が充実しているかが、判断材料になる。

保育料の値上げはするべきではない。計画の撤回を求める。

市長
近年の土壌汚染対策法の改正によって土地の所有者責任の重要性



開発が今後行われる塩田跡地

市長直轄組織参与
施工に対する監督処分責任を有する県と連携し、県の検査には市も同行して対応する。

が増している。事業者の工事等を、中断せざるを得ないような土地の実質的なリスクは想定しがたいこと、政策の重要性、そして我々が負わなければならないリスク等を、総合的に勘案した場合に合理的な責任のあり方を、相手方とたび重なる交渉の上、市として、また市長として取り決めたものであり、裁量権の範囲でこの契約をさせていただいた。



馬場 政教

問 塩田開発のリスク管理は
答 事業者は水質等を市に報告する

が増している。事業者の工事等を、中断せざるを得ないような土地の実質的なリスクは想定しがたいこと、政策の重要性、そして我々が負わなければならないリスク等を、総合的に勘案した場合に合理的な責任のあり方を、相手方とたび重なる交渉の上、市として、また市長として取り決めたものであり、裁量権の範囲でこの契約をさせていただいた。

議会広報編集特別委員会報告

佐賀県鳥栖市議会来訪

7月3日、佐賀県鳥栖市の議会だより編集委員会が、当市の議会だより編集の研修視察に訪れた。

議長と全委員が出迎え、より良い議会だより編集について研修した。

当市の議会だより編集方針や編集スケジュールについて委員長が説明した後、質疑応答に移った。

●編集期間が短く、中身を練る時間が短いのでは

●議員が編集するのは大変なのでは

●少しでも早く議会の情報を市民の皆さんに届けるため、短期間編集に努めている

●仕組みを作れば議員が編集することは困難ではない

と答えるなど、活発な意見交換ができた。そして、「ぜひ鳥栖市でも議員が作る議会だよりに挑戦してみたい」と発言された。

私たちも、さらに研鑽を積んでいかなければいけないと決意を新たにしました。



佐賀県鳥栖市議会だより編集委員会研修視察の様子

議会だより編集の詳細

	鳥栖市	瀬戸内市
委員の選任	会派より	常任委員会より (総務文教・環境福祉・産業建設水道 各3人ずつ)
編集者	事務局	編集委員(議員)
編集期間	40日	40日
規格	表紙・裏表紙カラー2色刷り	表紙・裏表紙カラー2色刷り
発行までの編集回数	2回	4回+正副委員長チェック1回



保健福祉部長
虐待相談件数は平成23年度28件、平成24年度34件、平成25年度37件と若干増加傾向である。

虐待をしてしまった親御さんへも支援は必要と考え、再発の防止や不安の軽減を図るよう、訪問や見守りを行っている。

保健福祉部長
内容的にはまだ十分でない。雇用場所や賃金については、A型事業所5カ所24人平均5万円。B型事業所4カ所40人平均9千円位。一般企業については把握できていない。ジョブスポットせとうちの就労紹介件数は54件、そのうち就職件数は11件である。

保健福祉部長
我が市の知的障害者が働く授産施設及び自立支援の整備と対応は十分なのか。

教育長
同感である。生涯学習は生きがいの創造も一つの目的である。自分が身につけたものを社会に還元するということも大きな目的の一つである。前向きに検討したい。



室崎 陸海

問 福祉の諸施策については
答 生きがいと幸せを実感出来るまちづくり

問 障害者福祉対策は。
答 高齢者福祉対策

高齢者にしかるべき報酬を払い教育現場への参画を考えた学校改革は。